

2012年(平成24年)度  
経済財政政策関係業務等に必要システムに係わる  
業務・システム最適化実施評価報告書

2014年3月24日  
内閣府本府情報化推進委員会決定

1. 経済財政政策関係業務等に必要システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	内閣府経済社会総合研究所総務部
府省全体管理組織担当課室名	内閣府大臣官房企画調整課情報システム室
対象期間	2012年4月1日～2013年3月31日
最適化工程の段階	設計・開発段階、運用段階

2. 設計・開発段階、運用段階における評価

(1) 設計・開発段階における評価

プロジェクトの実施・推進(国民経済計算システム(SNA))

(最適化の実施内容)

新システムの設計・開発及び進捗管理の実施。

(最適化の実施状況)

2012年度、2014年度末までに承認されたシステムの最適化計画を実現すべく、CIO補佐官を始めとする関係各位の協力を得つつ、以下の①から④について2011年度策定した全体設計等に準拠した仕様書による調達を経て、設計・開発及び進捗管理を実施し、予定通り国民経済計算(SNA)の個別システム(新システム)の構築整備を完了した。

- ① SNA産業連関表推計システムの最適化設計および開発を行った(株式会社リベルタス・コンサルティング)。
- ② 付加価値推計システム(年次推計)の最適化設計および開発を行った(株式会社リベルタス・コンサルティング)。
- ③ 民間企業資本ストック推計システムの最適化設計および開発を行った(株式会社リベルタス・コンサルティング)。
- ④ コモディティ・フロー法推計システム(年次推計)の最適化設計および開発を行った(株式会社ライテック)。

**【最適化実施の評価】**

○課題及び問題とその原因

特になし。

○対策

特になし。

(2)運用段階における評価

システムの運用(景気統計システム)

(最適化の実施内容)

新システムの運用。

(最適化の実施状況)

2011年度から本格的な運用を行い、景気動向指数及び機械受注統計について、景気統計システムを用いた公表体制へ移行した。公表作業について問題なく進めることができた。

**【最適化実施の評価】**

○課題及び問題とその原因

特になし。

○対策

特になし。

3. 最適化の効果の評価

2012年度、全体最適化の効果は発現しない。

4. 最適化実施の総合評価

再スタート後の「国民経済計算システム(SNA)」の最適化プロジェクトは、概ね適切に進んでいる。

2013年度においても、引き続き CIO 補佐官及び関係部署間で緊密に連携し、SNAの以下の個別システムの設計・開発の調達およびプロジェクト管理を行う。

- ・土地資産額推計システム(年次推計)
- ・供給側 QE 推計システム
- ・コモディティ・フロー法推計システム(補間年)
- ・付加価値推計システム(基準改定)
- ・固定資産推計システム

なお、「景気統計システム」については、前述のとおり2011年度から新システムを用いた公表体制へ移行し、問題なく運用できている。

5. その他

なし。

6. 添付書類  
なし。